

令和元年度  
事業報告書

社会福祉法人うめの木学園



## 1、利用者の状況

月	就労継続B型	生活介護	自立訓練	就労移行支援	入所支援
4月	689名	1,197名	0名	0名	1,349名
5月	666名	1,215名	0名	0名	1,342名
6月	618名	1,149名	0名	0名	1,364名
7月	706名	1,279名	0名	0名	1,410名
8月	554名	1,037名	0名	0名	1,346名
9月	583名	1,059名	0名	0名	1,349名
10月	628名	1,113名	0名	0名	1,338名
11月	622名	1,138名	0名	0名	1,380名
12月	621名	1,131名	0名	0名	1,408名
1月	588名	1,093名	0名	0名	1,371名
2月	564名	995名	0名	0名	1,341名
3月	685名	1,182名	0名	0名	1,455名
計	7,524名	13,588名	0名	0名	16,453名
平均/日	28.1名	50.8名			45.0名

月	うめの木ホーム	放課後等デイ	支援センター		
			日中ショートステイ	宿泊ショートステイ	相談支援
4月	236名	206名	13名	41名	24件
5月	235名	196名	19名	32名	25件
6月	240名	184名	16名	42名	30件
7月	248名	213名	16名	35名	33件
8月	231名	182名	29名	29名	21件
9月	238名	186名	18名	10名	20件
10月	248名	190名	12名	12名	18件
11月	240名	164名	20名	32名	21件
12月	240名	194名	20名	32名	29件
1月	235名	180名	23名	21名	28件
2月	232名	179名	47名	16名	24件
3月	248名	150名	7名	0名	33件
計	2,871名	2,224名	240名	302名	306件
平均/日	7.9名	7.9名	0.6名	0.8名	

※各事業の利用者数は、利用延べ人数を記載。

## 2、行事報告

月	日	事業内容	備考
4	19	健康診断(入所のみ)	利46名
	20	うめの木喫茶	
	26	新年度初会合	利73名、職39名
5	26	石川県障害者スポーツ大会	利6名、職3名
	29	避難訓練	日中活動中、通所棟のみ、夜間想定の3パターンで実施
	30	歯科検診	石川県歯科医師会2名、利82名
	31	理事会	
6	13	金平町いきいき倶楽部との交流会	いきいき倶楽部16名
	15	うめの木喫茶	
	17	評議員会、理事会	
	30	土砂災害防災訓練	
7	8	理事会	
	27	保護者会	
8	2	輪おどり	利80名、職46名、保ボラ10名 民謡会13名、学生ボラ3名 魚国総本社 1名 地域住民多数
	20	いしかわミュージックアカデミーミニコンサート	利、職90名、支援学校30名
	27	避難訓練	日中活動中、通所棟のみ、夜間想定の3パターンで実施
9	4	学園旅行(日帰りコース)	利13名、職12名
	11	学園旅行(日帰りコース)	利14名、職13名
	19~20	学園旅行(京都コース)	利31名、職11名
	22	県障害者ふれあいフェスティバル出店	
	26~27	学園旅行(滋賀・三重コース)	利16名、職9名
10	24	理事会	
	27	市ふれあいフェスティバル出店	
	28	土砂災害防災訓練	
	29	婦人科検診	利17名
11	26	胸部レントゲン	利76名
	28	後期定期健康診断 <身体計測、血圧測定> <嘱託医健診、検尿> <胸部X線> 26日実施 <血液検査> <心電図> インフルエンザ予防接種	利77名 対象…入所・通所全員 対象…入所・通所全員 対象…入所・通所全員 対象…入所 対象…入所の40歳以上
	30	保護者会	
12	12	干支入魂式、昼食会(長沖)	利69名、職27名
	14	うめの木喫茶	
	19	クリスマス会	利79名

月	日	事業内容	備考
1	9	初詣	利37名、職12名
	15	理事会	
	16	左義長	
	27	避難訓練	日中活動中、通所棟のみ、夜間想定の3パターンで実施
2	17	土砂災害防災訓練	
	29	うめの木喫茶	
3	29	うめの木喫茶	
	30	理事会	

### 3、職員の研修状況

月	日	研修内容	参加者
4	25	県福祉協会総会	施設長 1名 支援員 1名
5	29	石川療育センター研究発表会	サビ管 1名 看護師 1名
	30	認定調査委員研修会	サビ管 1名
6	12~13	障害施設中堅職員研修	支援員 2名
	18	文化芸術及び地域連携研修	支援員 1名
	19・27	精神福祉医療担当者研修会	支援員 1名
	6・20	精神福祉医療担当者研修会	支援員 1名
	26	障害施設リーダー研修	支援員 1名
7	2	障害施設リーダー研修	支援員 1名
	4~5	北陸地区障害関係施設職員研修会	支援員 2名
	9	福祉用具活用研修会	支援員 1名
	9~10	強度行動障害支援者養成研修	支援員 1名
	31	施設医療研修会	支援員 1名
8	5・7	福祉職場セミナー	施設長 1名 事務長 1名
	6	ストレスマネジメント研修	支援員 1名
	6~7	障害施設中堅職員研修	支援員 1名
	9	薬について学ぶ研修会	看護師 1名 サビ管 1名
	22	福祉職場セミナー	施設長 1名
	26	福祉職場セミナー	施設長 1名 事務長 1名
	27	福祉職場セミナー	施設長 1名
9	5~6	強度行動障害支援者養成研修	支援員 1名
	10	キャリアアップ講習会	看護師 1名
	13	強度行動障害支援者養成研修	支援員 1名
	18	人事管理研修	看護師 1名
	25~26	相談支援従事者初任者研修	支援員 1名
10	3	感染症予防研修会	サビ管 1名
	15~16	相談支援従事者初任者研修	支援員 1名
	28	相談支援従事者初任者研修	支援員 1名

月	日	研 修 内 容	参 加 者
11	8	障害者施設支援部会研修	支援員 1名
	15	県セルフ協会研修会	支援員 1名
	16	福祉協会相談支援・地域支援部会合同研修会	相談員 1名 支援員 1名
	11~12	虐待防止・権利擁護研修会	支援員 1名
	20~21	相談支援従事者初任者研修	支援員 1名
	28~29	福祉協会障害者施設支援部会全国大会	支援員 1名
12	5~6	北陸地区福祉協会地域生活・相談支援研修会	相談員 1名 サビ管 1名
	26	感染症予防研修会	支援員 2名
1	22	ICT・IOT導入推進事業研修会	支援員 2名
	23	就労支援基礎研修	支援員 1名
	27	県福祉協会生産・就労・日中支援合同研修会	サビ管 2名
2	15	災害時支援研修会	サビ管 2名
	15~16	医療的ケア支援者養成研修	支援員 1名
	17~18	相談支援従事者研修	支援員 1名
	18	県福祉協会地域生活援助研修会	サビ管 1名
	25~26	個別支援計画基礎研修	支援員 1名

#### 4、ボランティア受入状況

月	日	活 動 内 容	名 称 等
5	18	草刈り	保護者 13名
7	17	窓ふき外	小松たばこ販売組合 7名
	24~26	職場体験	コマニー(株) 7名
	27	草刈り	保護者 15名
8	2	輪踊り	小松郷土民謡会 13名 魚国総本社、保護者 10名 学生 3名
9	28	草刈り	シルバー人材センター 13名

#### ○クラブ活動等定期ボランティア

* 太鼓クラブ	* ビーズクラブ	* 3B体操	* 手話
---------	----------	--------	------

#### ○うめの木ボラ パン販売・出前喫茶ボランティア

##### (1) 定期

- ① パン販売 老人施設(みゆきの郷) 月2回  
能美健康センター 月1回
- ② 出前喫茶 老人施設(愛ランド萌寿) 毎週火曜  
学園において 月1回

##### (2) イベント関係

地元イベント、小松市・能美市主催イベント、福祉関係イベントなどに出店

## ○その他定期ボランティア

- \*出張散髪 村田理容店(月2回)
- \*アロママッサージ 川崎氏 (年4回)
- \*紙芝居、ハーモニカ 高辻氏、北道氏(月1回)
- \*手話コーラス 倉本氏(月1回)
- \*歌謡ショー 紬の会(年2回程度)

## 5、施設視察・見学及び実習の受入状況

月	日	受入内容	名称等
6	17~21	職場体験事業	小松特別支援学校 1名
7	29~8/9	福祉施設現場実習	金城大学短期大学 2名
11	11~15	職場体験事業	小松特別支援学校 1名
	11~22	職場体験事業	小松特別支援学校 1名
	18~29	職場体験事業	小松特別支援学校 1名
1	27~31	職場体験事業	県立ろう学校 1名

## 6、補助事業の状況

1、ワークセンターうめの木の改造工事	※トイレのバリアフリー化
(1)事業費	9,284,000円
(2)資金内訳	
①日本財団	7,420,000円
②自己資金	1,864,000円

## 7、学园内整備事業 (自己資金による整備) ※100万円以上掲載

①外壁改修工事(学園本館)	21,816,000円
②ベランダ防水改修工事(多目的棟)	1,404,000円
③業務記録システム更新(サーバー含む)	1,976,400円
④パソコン及びOS(Windows)更新	1,320,000円
⑤電話設備更新(全館)	1,728,000円
⑥デマンド監視システム更新(学園本館)	1,346,976円
⑦暖房機入替(体育館)	1,080,000円
⑧車いす対応車両 N-Box購入	1,760,000円

## 8、苦情解決制度利用状況

【今年度該当なし】

## 9、ヒヤリ・ハット報告状況

※本年度において、ヒヤリ・ハット報告書の提出件数は 23件でした。

○内容	① 転倒	6件	(5件)
	② 送迎ミス	0件	(0件)
	③ 誤薬・落葉 (誤薬 1 落葉 4)	5件	(0件)
	④ 無断外出	0件	(0件)
	⑤ 他害行為	5件	(6件)
	⑥ その他	7件	(20件)

※( )は、  
昨年度の件数

## 10、地域における公益的な取り組み

### (1) 施設の地域開放

- ① 小松市との間で『福祉避難所として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定』を締結
- ② 石川県立小松特別支援学校に駐車場を提供 (行事等に際し)
- ③ 石川県立小松特別支援学校にミニコンサート会場として体育館を提供 (共同開催)
- ④ 地元老人会に活動場所を提供 (交流会実施後の会議場所)

### (2) 地域づくり活動

- ① 限界集落になっている地元町内の公民館等周辺の草刈り及び除雪
- ② 高齢化が顕著になりつつある稲作農家に対し、低料金にて、育苗箱の引き取り、洗浄、JAへの返却を代行
- ③ 地域行事の際のテント貸し出し、職員派遣、物品販売の協力

### (3) 実施している社会福祉事業の延長上の活動

- ① 生活困窮利用者(通所)の食費免除
- ② 家庭の特別な事情を考慮したサービス提供 (時間外支援、入浴機会の提供等)

### (4) 実施している社会福祉事業を受け皿とした公益的活動

- ① 障害者手帳等を有する職員3名を雇用

### (5) 社会福祉の向上に向けた活動

- ① 福祉系大学・短大及び専門学校からの実習希望者を積極的に受け入れ
- ② 社会福祉協議会等が実施する福祉の仕事体験希望者を積極的に受け入れ
- ③ 地元の特別支援学校生徒の実習及び職場体験の積極的受け入れ
- ④ 全国障害者スポーツ大会への職員派遣 (役員として)

### (6) その他の活動

- ① ペットボトルのキャップをワクチンに交換する事業(エコキャップ運動)に協力

- ② 公益財団法人が実施している義援金活動に協力（職員による100円募金）
- ③ 公益財団法人日本財団が実施している「夢の貯金箱」事業に協力

## 11、職員処遇改善事業

『福祉・介護職員処遇改善加算』及び『福祉・介護職員等特定処遇改善加算』を取得し、職員の賃金向上を図りました。

『福祉・介護職員処遇改善加算』においては、算定要件に対応すべく、給与体系見直し等の体制整備を行い、これまでの『区分Ⅲ』から『区分Ⅰ』になるよう取り組みました。（加算額増加）併せて、以下のとおり職場環境等の改善に継続して取り組みました。

- ①働きながら資格取得を目指す職員に対して、勤務の弾力化。
- ②資格取得者に祝い金の支給。
- ③より専門性の高い支援技術を取得しようとする職員に対する勤務の弾力化。
- ④全ての支援員がサービス管理責任者の資格を取得することを目標に、順次研修に派遣。
- ⑤雇用管理改善のため、管理者が雇用管理に係る研修を受講。
- ⑥現場職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護機器の導入。（機械浴、エレベーター、電動昇降ベッド、ストレッチャー等）
- ⑦子育てとの両立を目指す職員のための育児休業制度等の充実。（一般事業主行動計画策定による。）
  - \*男子職員 1名 「育児のための深夜業の制限」を活用中
  - \*女子職員 1名 育児休業取得中(1年間の予定)
- ⑧マニュアル作成による業務の明確化。
- ⑨障害を有する者でも働きやすい職場環境構築や勤務シフトの配慮。
- ⑩非正規職員から正規職員への転換。
- ⑪短時間正職員制度の導入（令和2年度より実施することを決定）
- ⑫職員の増員による業務負担の軽減
  - ※年度内に3名採用、新年度に向け2名採用内定

## 11、放課後等デイサービス事業における自己評価の実施

放課後等デイサービス事業について、管理者と現場職員それぞれの視点から自己評価を行いました。

評価結果については、次頁に掲載し、本「事業報告書」をもって公表することとします。

また、自己評価と併せて、保護者にもアンケート調査という形で評価を依頼しました。結果については、集計の上、書面にて保護者にお伝えしました。

		チェック項目	管理者 の観点	現場職員 の観点	分析結果
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○	○	*活動スペースの広さは、アピールポイントの1つである。
	2	職員の配置数は適切であるか	○	○	*本年3月、トイレのバリアフリー化完了。玄関を除くほぼ全ての場所がバリアフリーとなった。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○	△	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○	△	*業務改善意識は共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○	△	*自己評価については、事業報告書に記載の上、関係機関の情報公開ページにて公表している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	△	*近々、ホームページを開設予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	×	×	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	△	△	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○	*アセスメント、支援計画、モニタリングの流れは、適切に行われている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	×	×	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	△	△	*各児童の個性が様々ため、普通の集団活動の実施は難しい。長期休暇時は、集団で活動できるよう工夫している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	△	△	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	△	△	*職員間の情報共有については、児童発達支援責任者を起点に、情報が行き渡るように配慮している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	△	△	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	△	△	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	△	△	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	△	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	○	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	△	△		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	○	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○	○	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	<p>* 特別支援学校と隣接していることが、アピールポイントの1つであり、学校と連携がとりやすい環境を活かした運営をしている。</p> <p>* 児童発達支援責任者を中心に、他の事業所との情報交換はできており、また、自立支援協議会に参加することにより、地域の情勢把握を行っている。</p> <p>* 自法人の相談支援専門員を通じて、地域ニーズの把握に努めている。</p> <p>* 保護者とは、個別に、メール、電話を通じて連携を図っているが、保護者会全体組織を作るまでには至っていない。</p>
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○	△	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	○	○	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	△	○	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	×	×	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○	○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	○	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	×	×	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	○	<p>* 契約の際に必要な説明及び情報提供を行っている。</p> <p>* 保護者個別に、メール、電話を通じて必要な情報を提供している。</p> <p>* 近々にホームページを開設予定。活動の様子等を紹介していきたいと考えている。</p>
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	○	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	×	△	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	○	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	△	△	
	35	個人情報に十分注意しているか	○	○	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	△	△	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	×	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	△	△	<p>* 緊急時のマニュアルは作成しているが、職員が十分に把握しているとは言い難い。</p> <p>* 避難訓練は最低年2回、虐待防止研修は年1回実施している。</p> <p>* 事故発生時は、原因分析、経過調査、対策検討を十分行っている。</p>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	○	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	○	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	—	—	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	—	—	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	○	

○ …はい

△ …どちらともいえない

× …いいえ

— …該当なし